

令和7年度 第6回第7期松本市地域づくり市民委員会 会議要旨

開催日時 令和7年12月19日（金曜日） 午後3時30分から午後5時00分まで

開催場所 大手公民館 大会議室

出席者（敬称略）

委員 古田成志（委員長）、降旗都子（副委員長）、野村委員、永塚博、塩原敏宏、堀川聡子、百瀬壽、竜田大輝、櫻井美智代、赤羽勝、木藤永子、中島麻衣、櫻井利彦（欠席：金正玉）

事務局 地域づくり支援課 地域づくり支援課長 上條智久
地域づくり支援担当 課長補佐 床尾拓哉 主事 稲場毅人
市民活動推進担当 係長 小岩井一樹 事務員 児玉悠香

1 開会

（委員長 古田成志）

2 あいさつ

（委員長 古田成志）

3 会議事項

(1) ワーキンググループによるグループワーク

グループテーマについて、これまでの委員会で出された仮説の裏付けを行うため、根拠資料等をもとに、グループごと議論を行った。

グループ番号	テーマ	話し合われた内容
①	持続可能な自治組織（町会）のあり方	<ul style="list-style-type: none">・ 町会のスリム化に関して、マンション管理組合の仕組みを参考にできるのではないかな。・ お祭りや伝統行事等のイベントは、町会未加入者等にも参加のニーズがあり、町会業務から切り離して運営組織を立ち上げるなど、町会の負担軽減に向けた工夫が検討できるのではないかな。・ 町会不要論もあるが、防犯灯の運営等、町会がなくなった場合に困ることも多く、それらを可視化することで、町会の必要性を訴えていくことも可能ではないかな。

グループ 番号	テーマ	話し合われた内容
②	幅広い住民の地域 参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に意見を言える環境作りには、多世代でも共通の話題でつながれる仕掛けや、対象年齢を同世代に限定した取組みを増やすなど、心理的ハードルを下げる工夫が必要ではないか。 ・ 市で統一した町会アプリ等を導入するなど、情報の集約化を図り、町会加入の有無に関わらず、情報を受信できる仕組みづくりを検討してはどうか。 ・ 学生アンケートの結果によると、学生は地域とのつながりがある程度必要としていることが明らかとなっており、地域側の柔軟な対応も必要だと感じた。
③	多様な主体との協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ NPOや企業が持つ、情報やノウハウを地域づくりに生かす仕組みを作ることではないか。 ・ NPOや企業の取組みを可視化する仕組みを検討できないか。 ・ 多様な主体を地域とつなげる機能・役割を誰が担うのか、明確にする必要があるのではないか。 ・ 地域貢献に積極的に実施した事業者に対する表彰（認証）制度など、他市では行政主導のインセンティブを設けている事例があるため、松本市でも検討できないか。

(2) その他

(説明 事務局)

- ・ 事務連絡について

(以上)